

日本地学教育学会第80回全国大会（広島大会） プログラム

9月5日（土）午前				
9:00	受付開始（広島大学東千田キャンパス 総合校舎A棟）			
10:00 - 10:30	開会行事（501教室）			
10:30 - 10:45	休 憩・発表準備			
研究発表	第1会場 （501教室）		第2会場 （402教室）	第3会場 （302教室）
座長	境 智洋（北海道教育大学）		間處耕吉（広島文化学園大学）	星 博幸（愛知教育大学）
1	10:45 - 11:00	小学校理科における天体望遠鏡の操作に関する授業実践 ○阿部和香・飯田和也（武蔵野大学）	温帯低気圧の3次元構造に基づいた気象要素の変化の体系的理解を促す教材の開発と実践 ○中本啓太・吉富健一（広島大学大学院人間社会科学研究科）	科学わくわくプロジェクトにおける小学校地学関連内容の授業支援 ―5年「流れる水のはたらき」と6年「月と太陽」を中心に ○林 武広（元 広島大学）・藤川義範（元インドネシアスマラン国立大学）・磯崎哲夫（広島大学）
2	11:00 - 11:15	一人一台端末を利用した3DCG等圧線教材の作成と評価 ○松原実憂（武蔵野大学）・高瀬伸悟（中野区立中野東中学校）・飯田和也（武蔵野大学）	マサ土とマサの違いとは ImageJを用いた粒子解析 ○山田一葵・吉富健一（広島大学大学院人間社会科学研究科）	地層の剥ぎ取り標本を利用した出前授業 ○池本博司（広島市立美鈴が丘高等学校）・林 武広（元 広島大学）
3	11:15 - 11:30	神奈川県平塚市土屋の地層のはぎ取り標本の教材的価値と授業実践 時間的・空間的な見方・考え方の育成を目指して ○河口 陽・竹田大樹（慶應義塾湘南藤沢中高等部）	シュートタキライトを用いた花崗岩の隆起速度に関する学習プログラム ○西 佑馬・吉富健一（広島大学大学院人間社会科学研究科）	鉱物種同定をめざす岩石薄片ムービーの開発 ○花野木政信（崇徳中学校・高等学校）・池田幸夫（山口大学）・鈴木盛久・吉富健一（広島大学）・林 武広（元 広島大学）
4	11:30 - 11:45	時間スケールの段階的獲得を目指した地球史の単元指導計画の提案 ○浅野理紗（茨城県立石岡第一高等学校）・浅野裕樹（長野大学）・佐藤友介（北海道札幌北陵高等学校）・花田遥平（滋賀県立膳所高等学校）・伊藤克治（福岡教育大学）・後藤顕一（東洋大学）・野内頼一（日本大学）	流星群を題材とした地球の公転運動の理解を促進させる教材の開発 ○竹石 惟（広島大学大学院人間社会科学研究科）	教師が撮影した地形・自然動画の提示が生徒の関心に与える影響について ○尾口俊一（横浜市立本宿中学校）
5	11:45 - 12:00	高校地学基礎における生徒の気づきや疑問を生かしたミニ課題研究 ―探究的な活動を取り入れた単元学習を通して― ○浅野裕樹・浅野理紗・花田遥平・佐藤 大・真井克子・伊藤克治・後藤顕一・野内頼一（長野大学）	火成岩の識別能力育成と地域地質の理解を促す授業実践 ～校内岩石観察を通して～ ○平谷篤史（広島県立福山誠之館高等学校）	日本地学教育学会支部企画イベント助成を活用した市民向け講座・野外観察会「大地の成り立ちを探ろう」 ○星 博幸（愛知教育大学）
12:00 - 13:00	休 憩			

9月5日（土）午後1				
13:00 - 14:15		総 会（501教室）		
研究発表		第1会場 （501教室）	第2会場 （402教室）	第3会場 （302教室）
座長		飯田和也（武蔵野大学）	土井 徹（安田女子大学）	小荒井千人（甲南大学）
6	14:15-14:30	恐竜骨格3DCG教材を利用した授業実践報告 ○飯田和也（武蔵野大学）	「月の満ち欠け」における大学生のつまずきについての考察 大学での授業後に行った誤答分析に基づいて ○土井 徹（安田女子大学）	地学基礎 授業実践報告 一化石標本の観察を通じた地質年代理解の深化ー ○香田達也・西川 徹・掃部寿彦（神戸市立須磨翔風高等学校）
7	14:30-14:45	国内の地下水・湧水教育に関する実践研究の動向と課題 ○武田舞子（あきる野市立東中学校）・飯田和也（武蔵野大学）・雲財寛（広島大学）	手作り簡易分光器を活用した授業実践とその効果 ○中村 勝（広島大学附属三原学校園（中学校））・林 武広（元 広島大学）・藤川義範（元インドネシアスマラン国立大学）	連続的に重なる非海成の地層から産出する二枚貝化石と植物化石を用いた地域の地史を科学的に推定する授業 ○小久保慶一（釧路工業高等専門学校）・小荒井千人（甲南大学）
8	14:45-15:00	教員養成系大学生の海底地形の認識 ○境 智洋（北海道教育大学）	広島大学東広島天文台見学の実施とその効果 ー「わくプロ」の事業例ー ○藤川義範（元インドネシアスマラン国立大学）・植村 誠・川端弘治・磯崎哲夫（広島大学）・林 武広（元 広島大学）	3Dプリンター製化石レプリカを用いた地域の地史を推定する 高等学校用実習教材の開発 ○小荒井千人（甲南大学）・小久保慶一（釧路工業高等専門学校）
9	15:00-15:15	海洋科学教育のための海底堆積物を用いた教材開発と小学校理科での授業実践 ○西田尚央・山本真梨子（東京学芸大学）・葛貫裕介（府中市立府中第三小学校）・板木拓也（産業技術総合研究所）	「大地のつくり」における「理科読」の手法と観察・実験 ○久田健一郎（元 筑波大学）・土井美香子（NPO法人ガリレオ工房）・舟木志郎（元 大田市立長久小学校）・川津康正（大田市立長久小学校）・矢田猛士（島根県立三瓶自然館サヒメル）・中村佐恵子（大田市立図書館）	堆積岩はどのようにして固まったのか？ コンクリートを使用したモデル実験から考察する ○平賀博之（広島大学附属福山中・高等学校）
10	15:15-15:30	内陸地域の中学生を対象とした海洋科学教育の授業実践 ー東京湾と河川の堆積物の観察を題材にしてー ○鈴木美乃・西田尚央（東京学芸大学）	病弱特別支援学校中学部での理科授業におけるICTの活用事例 ー「大地の変化」についての3D教材を使った授業の実践ー ○上野静子（大府特別支援学校）・唐田幸彦・工藤菜々子（株式会社ダンク）・久田健一郎（元 筑波大学）	河川合流部における水難事故時の状況と防止へのアプローチ ○山下浩之（岡山理科大学）
15:30 - 15:45		休 憩		

9月5日（土）午後2				
研究発表		第1会場 (501教室)	第2会場 (402教室)	第3会場 (302教室)
座長		佐藤真太郎（畿央大学）	加藤内蔵進（岡山大学）	田口瑞穂（秋田大学）
11	15:45-16:00	砂防堰堤の仕組みを理解する授業から新たな問いを立てるプロセス ○佐藤真太郎（畿央大学）	季節サイクルの熟知から架橋する気候変動と文化理解の教育の展開へ向けて（日本やドイツの春から夏を例とする大学での授業） ○加藤内蔵進・長岡 功（岡山大学）・加藤晴子（元 岐阜聖徳学園大学）	融雪型火山泥流の理解を支援する立体地形図教材の開発と授業実践 ○田口瑞穂・山下清次（秋田大学）
12	16:00-16:15	瀬戸内海西部の海底活断層と陸上の調査に基づく防災教育 ○岡田大爾（広島工業大学）・越智秀二（福山大学）・藤岡達也（滋賀大学）・石原茂和・橋本清勇（広島国際大学）	唱歌「早春賦」を接点とした気象と音楽を連携させた教科横断型授業の実践 ○松尾健一（岡山県立和気閑谷高等学校）	小学校生活科における砂の教材化 ○木下克志（学校法人鶴学園 なぎさ公園小学校）・平松和彦（士別市立博物館）
13	16:15-16:30	西瀬戸内海の海底活断層と陸上調査の成果を防災教育に繋げる Geopark 構想 ○越智秀二（福山大学）・藤岡達也（滋賀大学）・岡田大爾（広島工業大学）	生徒の地学観の実態調査とその変容を促す単元開発 ○黒瀬玲凱（福井県立若狭高等学校）	ドーナツ型水槽およびピーカーを用いた地層形成実験 ―小学6年生を対象とした授業実践による評価― ○廣木義久（大阪教育大学）・國光妙子（大阪教育大学附属天王寺小学校）
14	16:30-16:45	地域の自然、科学技術の二面性を重視したSDGs, STEAM教育の開発；山口県上関地域を例として ○藤岡達也（滋賀大学）・岡田大爾（広島工業大学）・越智秀二（福山大学）	広島県高等学校教育研究会理科部会地学部現状と今後の発展に向けて ○野村聡司（広島県立広島国泰寺高等学校）・岩田 真（広島県立広島高等学校）・池本博司（広島市立美鈴が丘高等学校）・坂倉みかり（広島県立高陽東高等学校）・平谷篤史（広島県立福山誠之館高等学校）	土砂崩れはどのようにして起こるのか？ 小中学生にむけた防災教育教材（土砂災害）の開発 ○吉富健一（広島大学）
18:00 - 20:00 懇親会				

9月6日（日）午前			
8:30	受付開始（広島大学東千田キャンパス 総合校舎A棟）		
9:00 - 10:30	ポスターセッション コアタイム （ポスター会場：304教室）		
	P-1	P-2	P-3
	気候変動時代における地学教育の意義と展開 -気候変動適応に着目して- ○吉本直弘（大阪教育大学）	地球科学と芸術を融合した体験型教育の実践 ○山口一裕（倉敷芸術科学大学）・齋藤亜沙実（岡山理科大学）・野瀬重人（元 岡山理科大学）	プレート運動による広域応力場と断層形成に関する認識調査 ○西 佑馬・吉富健一（広島大学大学院人間社会科学研究科）
	P-4	P-5	P-6
	造岩鉱物識別力の形成が火成岩の識別過程に与える影響の調査 ○村井修幸・吉富健一（広島大学）	オンライン貝類化石検索表 ー教育利用の評価と課題ー ○林 誠司（名古屋大学大学院環境学研究科）	プレート運動に関する中・高校生の認識（予察的検討） ○林 武広・藤川義範（元 広島大学）・池本博司（広島市立美鈴が丘高等学校）・中村 勝（広島大学附属三原学校園）・龍岡寛幸（山口大学）・磯崎哲夫（広島大学）
	ジュニアセッション コアタイム （ジュニアセッション会場：302教室）		
	J-1	J-2	J-3
	散乱粒子の濃度及び光路長の違いが夕焼けのスペクトルに及ぼす影響 ○浦上里桜（広島県立広島高等学校）	広島県内の湧水地点における地質的特徴についての研究 ○實森紫月（広島県立広島高等学校）	簡易プレートモデルによる沈み込み帯地震の再現実験 ○石原 亘（広島県立高陽東高等学校）
	J-4	J-5	J-6
	広島市における三角州形成前の地形と地質の復元 矢澤輝一・神尾怜音・竹内章人・久松莉子・三好巧起・森原由藍（広島大学附属高等学校）	積雪の重みは地震にどのような影響を与えるか ○上野こうみ・柿崎莉星・○鈴木花奈・馬淵栄志・森垣裕太（宮城県多賀城高等学校）	マイクラによる豪雨土砂災害に向けた避難意識向上策・UAV-LiDAR測量による谷地形の危険度変化の認識 ○青野音丹（広島県立広島井口高等学校）
	J-7	J-8	J-9
	日本史のような地学でもある内容が面白い！ ○住田ゆうか（広島市立美鈴が丘高等学校）	日本の恐竜の大きさと植生の関係について ○大原 暁（広島県立広島国泰寺高校）	長周期地震動と堆積物粒子間の反発係数の関係 ○原本航輔（広島県立広島国泰寺高校）
	J-10	J-11	J-12
	紫外線を用いたスペースデブリの観測方法について ○小川壽仁（広島県立広島国泰寺高校）	鉱物表面と光の入射角の変化に伴う届く光の関係 脇 花枝・松井心美・吉山菜々子・石岡咲央莉・平野想子・板倉悠真（広島県立広島国泰寺高校）	星を見つけるために効果的なアプローチの模索 村上日菜子・坂本玲奈・猪原菜月・谷邊優里（広島県立福山誠之館高等学校）
	J-13	J-14	掲示したポスターは、15時までに撤去してください。
	小麦粉を用いた簡易観測による雨滴サイズ分布の研究 ○堀内勇志（鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校）	酸性雨調査30年間の報告 栗尾茉莉・岡内薫子・諏澤寧々・廣田七海（広島大学附属福山中学校）	
シンポジウム （第1会場 501教室）			
10:40 - 12:00	テーマ：新しい時代における地学教育に向けて 登壇者：澤口 隆（東洋大学教授） 学会と地学オリンピック日本委員会の立場から 三次徳二（大分大学教授） 教員養成系大学・学部教員の立場から 實森満樹（広島県立西条農業高等学校教頭） 教育行政と学校現場をつなぐ立場から 司会進行：磯崎哲夫（大会実行委員会事務局長：広島大学教授）		
12:00 - 13:00	休 憩		

9月6日(日) 午後			
研究発表		第1会場 (501教室)	第2会場 (402教室)
座長		猪股雅美(広島工業大学)	佐藤友彦(岡山理科大学)
15	13:00-13:15	大分県豊後大野市の小学校におけるジオパークを用いた教育 ○三次徳二(大分大学)・小嶋桃太(大分市立金池小学校)	プレートテクトニクスの動的・空間的概念の理解促進: 3D地球儀web教材「Sympal Globe」を用いた教育実践 ○佐藤友彦(岡山理科大学)・河合研志(東京大学)
16	13:15-13:30	ジオパークへの関心の変化と公式サイトにおける人材情報 ○小森次郎・太田 真(帝京平成大学)	スケルトン地震計の広域ネットワークを活用した震源決定学習の実践 ○印南 航(大阪教育大学附属天王寺中学校)・岡本義雄(元大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎)・加藤忠義(横浜市立丸山台中学校)・田崎俊介(筑波大学附属高等学校)
17	13:30-13:45	新潟県糸魚川市の地質特異性と「食・水」を紐づける教科横断的プログラムの開発 ○郡山鈴夏(糸魚川フォッサマグナミュージアム)・小河原孝彦(糸魚川ジオパーク協議会)	地震の学習における課題提示型学習の効果 ○滋野哲秀(龍谷大学)
18	13:45-14:00	自然現象の種類による「恩恵」と「脅威」の認識の相違 ―被災地大学生を対象とした調査― ○猪股雅美(広島工業大学)・小崎遼介(環太平洋大学)・坂本昌弥(九州ルーテル学院大学)	中学校理科における火山灰噴出実験装置を用いた授業実践 ―樽前山1739年噴火の広域火山灰― ○亀村祐斗(北海道教育大学大学院)・佐藤鋭一(北海道教育大学旭川校)
19	14:00-14:15	自然災害伝承碑より学ぶ地域の災害と伝承 ―滋賀県北東地域の事例― ○大堀道広(滋賀県立大学)	直接的体験を基盤とした中学校理科から高等学校課題研究への連動 ―地域の露頭観察を起点とした探究の実践― ○杉田泰一(広島大学附属中・高等学校)
14:15 - 14:30		休 憩	
座長		根本泰雄(立命館大学)	林 隆之(文教大学)
20	14:30-14:45	「理科」教員養成時の板書指導にて漢字の筆順指導も必要か? ○根本泰雄(立命館大学)	Gaia データベースと Aladin サービスを活用した天体測光零点補正法 ○富田晃彦(和歌山大学)
21	14:45-15:00	高等学校地学の成立に関する考察 ○清水政義(元東京都立府中西高等学校)	地球の公転に関する教育課程上の課題とその解決案 ○林 隆之(文教大学)
22	15:00-15:15	地学教育でのラーニングアナリティクス活用の試み ○多賀 優(龍谷大学)・陳 家東・原 旦・木貫新一(九州大学)	卓上プラネタリウムを用いて視点移動能力の育成を図る授業開発 ○藤井梨花子・平川尚毅(大阪教育大学)・井村有里(四天王寺大学)
23	15:15-15:30	地学の問題から探るアブダクションの精度を下げる要因 ○吉川武憲・高橋朋子(近畿大学)	生徒と取り組む「レベル5」の探究活動～石焼き芋を科学する～ ○井村有里(四天王寺大学)
15:30 - 15:45		休 憩	
15:45 - 16:00		閉会行事(501教室)	

括弧内は発表者のご所属となっております。